PEX-H285144 Board Support Package Installation on RedHawk

Release Notes Revision B

September 12, 2022

1. はじめに

本書は、Concurrent Real Time Inc(CCRT)の RedHawk 上で動作する、インターフェース社製 PEX-H285144 PCI Express ボードサポートパッケージ 用リリースノートです。

2. インストールのための条件

PEX-H285144 BSP をインストールするためには、以下の製品がインストールされている必要があります。

- PEX- H285144 ボード
- RedHawk 6.x 以上
- Extmem version 8.3 以上

PEX-H285144は、シンク型出力対応電流駆動フォトカプラ入力の32点デジタル信号入力と、高電流オープンコレクタシンク型出力32点のデジタル信号出力を持つ、PCI Express対応デジタル入出力製品です。

3. インストール方法

PEX-H285144 BSP は、IRQ 共有するように設計されています。もしこのデバイスの IRQ が、別のデバイスによって共有されている場合に、このドライバの性能は損なわれる場合があります。そのため、可能な限り、このボードはその IRQ が他の装置と共有されていないPCIスロットの中に実装する事が奨励されます。“lspci -v”コマンドをシステムで種々の装置の IRQ を確認するために使用することができます。

PEX-H285144 BSP は、CDROM/DVD 上の RPM フォーマットで供給され、別途 extmem デバイスドライバがインストールされている必要があります。

以下に、インストールの手順を示します。:

amd64 アーキテクチャの場合

```
==== root ユーザで実行してください====
# mount /dev/cdrom /mnt あるいは mount /dev/dvd /mnt
# cd /mnt
もし、extmem を同時にインストールする場合には、以下のコマンドを入力してください
# apt install ./bin-extmem-rhx.y_X.Y_amd64.deb
```

PEXH285144 BSP 実行パッケージのインストール

```
# apt install ./bin-pexh285144 -rhx.y_X.Y_amd64.deb
```

もし必要であれば、続けて開発パッケージのインストールを行ってください

```
# apt install ./dev-pexh285144 -rhx.y_X.Y_amd64.deb
# umount /mnt
```

arm64 アーキテクチャの場合

```
==== root ユーザで実行してください====
# mount /dev/cdrom /mnt あるいは mount /dev/dvd /mnt
# cd /mnt
もし、extmem を同時にインストールする場合には、以下のコマンドを入力してください
# apt install ./bin-extmem-rhx.y_X.Y_arm64.deb
```

PEXH285144 BSP 実行パッケージのインストール

```
# apt install ./bin-pexh285144 -rhx.y_X.Y_arm64.deb
```

もし必要であれば、続けて開発パッケージのインストールを行ってください

```
# apt install ./dev-pexh285144 -rhx.y_X.Y_arm64.deb
# umount /mnt
```

(x.y は RedHawk のバージョン番号であり、6.x,7.x または 8.x で、X.Y は、BSP のバージョン、z は、BSP のリリース番号を示し、予告なく変更することがあります。)

PEX-H285144 BSP パッケージは `/usr/local/CNC/drivers/extmem/interface/pexh285144` ディレクトリにインストールされ、必要な場所に展開されます。

4. アンインストール方法

PEX-H285144 BSP パッケージは、以下のコマンドでアンインストールします。この作業により `/usr/local/CNC/drivers/extmem/interface/pexh285144` ディレクトリは削除されます。

x86_64 アーキテクチャの場合

==== root ユーザで実行してください====

開発パッケージをインストールしていた場合には、

rpm -e dev-pexh285144 -X.Y_RHx.y-z.x86_64 (開発パッケージの削除)

rpm -e bin-pexh285144 -X.Y_RHx.y-z.x86_64 (実行パッケージの削除)

実行パッケージのみをインストールしていた場合には、

rpm -e bin-pexh285144 -X.Y_RHx.y-z.x86_64 (実行パッケージの削除)

amd64 アーキテクチャの場合

==== root ユーザで実行してください====

開発パッケージをインストールしていた場合には、

apt purge dev-pexh285144 -rhx.y (開発パッケージの削除)

apt purge bin-pexh285144 -rhx.y (実行パッケージの削除)

実行パッケージのみをインストールしていた場合には、

apt purge bin-pexh285144 -rhx.y (実行パッケージの削除)

arm64 アーキテクチャの場合

==== root ユーザで実行してください====

開発パッケージをインストールしていた場合には、

apt purge dev-pexh285144 -rhx.y (開発パッケージの削除)

apt purge bin-pexh285144 -rhx.y (実行パッケージの削除)

実行パッケージのみをインストールしていた場合には、

apt purge bin-pexh285144 -rhx.y (実行パッケージの削除)

5. ライブラリマニュアル

ライブラリマニュアルは、オンラインで提供されます。

man pexh285144

pexh285144(3)

Library Functions Manual

pexh285144(3)

NAME

pexh285144 - external memory board support library

SYNOPSIS

[ボードの詳細は、各マニュアルを見てください]

DESCRIPTION

pexh285144 は、external memory ドライバを利用した pexh285144 ボードアクセスライブラリです。

```
#include <sys/pexh285144.h>
```

```
gcc [options ...] file -lpexh285144 -lxtmem ...
```

OPEN/CLOSE/MMAP

PEXH285144

は、通常のデバイスファイルと同

様に open/close 可能です。

デバイスは、実使用の前に必ずユーザーが初期化する必要があります。

デフォルトでは、非共有モードですが、IOCTL_EXTMEM_SHARED を発行すると、複数のユーザで

デバイスを共有できます。

但し、レジスタなどの整合性の責任はユーザに任せられます。

デバイスドライバでは最初に open したプロセスが最後に close することを仮定しています。

典型的なレジスタ初期化の手続きは、ライブラリとして提供されているため、プログラムテンプレートを使用します。

ボードへの割り込みは、アクセスライブラリによって extmem デバイスドライバに登録された割り込み手続きによって処理されます。

加えて必要であれば以下の例のように(SIGIO)シグナルハンドラを使用して追加の処理を行うことができます>。

アクセスライブラリでは、以下の場合に割り込みレジスタをアクセスします。

(1) pexh285144_init(), pexh285144_reset(), pexh285144_uninit(), pexh285144_enable_intrrupt(), など関数呼び出し時

(2) 実際の割り込みが発生した時

オフセット 0x0C(INTR)を読み込み、ON になっているビットをクリアする

この値は、pexh285144_intr_service()関数で、読み出すことができます。

ただし、関数を呼び出す前に連続して割り込みが発生した場合には、値は上書きされます。

また値が上書きされた場合には pexh285144_intr_service()関数の pendig 値で検出できます。

(3) アプリケーションプログラムがデバイスを close()した時、あるいは異常終了したとき

```
*****  
PEXH285144  
*****
```

割り込みハンドラの登録

```
int pexh285144_setup_signal ( int fd, void (*interrupt_hadler)(int, siginfo_t *, void *), int mask);
```

戻り値

エラーなら-1 成功なら 0

引数

fd ファイルディスクリプタ番号

void (*interrupt_handler)(int, siginfo_t *, void *) 割り込みハンドラ
mask 割り込みを許可するマスク値

デバイスの非初期化処理

```
int pexh285144_reset(int fd);  
int pexh285144_reset_mmap(PEXH285144R *dev);  
int pexh285144_uninit(int fd,PEXH285144R *dev); 戻り値  
エラーなら-1 成功なら 0
```

引数

fd ファイルディスクリプタ番号
dev pexh285144 のデバイスメモリへのポインタ

デバイスの初期化処理

```
int pexh285144_init(int fd,PEXH285144R **dev, int *dev_size, int option);  
戻り値
```

エラーなら-1 成功なら 0

引数

fd ファイルディスクリプタ番号
option 1を指定すると以下の情報が表示される
dev pexh285144 のデバイスメモリへのポインタが返される
このポインタを利用すると高速にアクセスすることができる
dev_size pexh285144 のデバイスメモリのサイズが返される(4096)
BAR0 MEM Region addr 0xebfff000 offset 0x00000000 4096 bytes Switch 0

pexh285144 の出力を発生させる

```
int pexh285144_raise_signal ( int fd, int ack, int out1, int out2);  
int pexh285144_raise_signal_mmap(PEXH285144R *dev,int ack,int out1,int out2);
```

戻り値

エラーなら-1 成功なら 0

引数

fd ファイルディスクリプタ番号
dev pexh285144 のデバイスメモリへのポインタ
ack,out1,out2 割り込みの種類 以下のいずれかを指定する

ack1	PEXH285144_PULS_ACK1_NOACTION	なにもしない
	PEXH285144_PULS_ACK1_LOW_HIGH	ACK1 端子をクリア Low->High
	PEXH285144_PULS_ACK1_HIGH_LOW	ACK1 端子をクリア High->Low
out1	PEXH285144_PULS_OUT1_NOACTION	なにもしない
	PEXH285144_PULS_OUT1_LEVEL_HIGH	High レベル出力
	PEXH285144_PULS_OUT1_LEVEL_LOW	Low レベル出力
	PEXH285144_PULS_OUT1_PULSE_LOW	Low パルスを出力
out2	PEXH285144_PULS_OUT2_NOACTION	なにもしない
	PEXH285144_PULS_OUT2_LEVEL_HIGH	High レベル出力
	PEXH285144_PULS_OUT2_LEVEL_LOW	Low レベル出力
	PEXH285144_PULS_OUT2_PULSE_LOW	Low パルスを出力

割り込みサービス関数 割り込んだ際の割り込み要因レジスタ(オフセット 0x0c)の値を戻す
int pexh285144_intr_service (int fd, unsigned int *iflag, int *pending);

戻り値

エラーなら-1 成功なら 0

引数

fd ファイルディスクリプタ番号

iflag 値を戻す変数
pending 保留されている割り込みの数を戻す変数
割り込みを禁止する

```
int pexh285144_disable_intrrupt ( int fd, unsigned long int mask);  
int pexh285144_disable_intrrupt_mmap(PEXH285144R *dev , unsigned long int mask);
```

戻り値

エラーなら-1 成功なら 0

引数

fd ファイルディスクリプタ番号
dev pexh285144 のデバイスメモリへのポインタ
mask 割り込みを禁止するビットマスク 以下のいずれかを指定する
PEXH285144_IMASK_STB1 STB1 からの入力信号
PEXH285144_IMASK_IRIN1 IR.IN1 からの入力信号
PEXH285144_IMASK_IRIN2 IR.IN2 からの入力信号
PEXH285144_IMASK_TIMER タイマー割り込み
PEXH285144_IMASK_RESET リセット割り込み
PEXH285144_IMASK_IACK2 ACK2 割り込み
PEXH285144_IMASK_ALL 上記のすべて

割り込みを許可する

```
int pexh285144_enable_intrrupt ( int fd, unsigned long int mask);  
int pexh285144_enable_intrrupt_mmap(PEXH285144R *dev, unsigned long int mask);
```

戻り値

エラーなら-1 成功なら 0

引数

fd ファイルディスクリプタ番号
dev pexh285144 のデバイスメモリへのポインタ
mask 割り込みを禁止するビットマスク 以下のいずれかを指定する
PEXH285144_IMASK_STB1 STB1 からの入力信号
PEXH285144_IMASK_IRIN1 IR.IN1 からの入力信号
PEXH285144_IMASK_IRIN2 IR.IN2 からの入力信号
PEXH285144_IMASK_TIMER タイマー割り込み
PEXH285144_IMASK_RESET リセット割り込み
PEXH285144_IMASK_IACK2 ACK2 割り込み
PEXH285144_IMASK_ALL 上記のすべて

インターバルタイマーをセットする

```
int pexh285144_set_interval_timer(int fd, unsigned long int base, unsigned long int div);  
int pexh285144_set_interval_timer_mmap(PEXH285144R *dev, unsigned long int base, unsigned long  
int div);
```

戻り値

エラーなら-1 成功なら 0

引数

fd ファイルディスクリプタ番号
dev pexh285144 のデバイスメモリへのポインタ
base ベースクロック値 以下のいずれかを指定する
PEXH285144_TIMER_BASE_STOP 停止
PEXH285144_TIMER_BASE_010USEC 10 マイクロ秒
PEXH285144_TIMER_BASE_100USEC 100 マイクロ秒
PEXH285144_TIMER_BASE_001MSEC 1 ミリ秒
PEXH285144_TIMER_BASE_010MSEC 10 ミリ秒
PEXH285144_TIMER_BASE_100MSEC 100 ミリ秒
div ベースクロックを分周する値 カウントダウンし 0 の時割り込みが発生する

最大15分周しかできない

インターバルタイマーの現在値を読み出す

```
int pexh285144_get_interval_timer(int fd,unsigned long int *count);
int pexh285144_get_interval_timer_mmap(PEXH285144R *dev,unsigned long int *count);
```

戻り値

エラーなら-1 成功なら 0

引数

fd ファイルディスクリプタ番号
dev pexh285144 のデバイスメモリへのポインタ
count 値を読み出す変数へのポインタ

汎用関数 オフセット値を指定してレジスタの値を読み出す

```
int pexh285144_get_ioport(int fd,int offset,unsigned long int *value);
int pexh285144_get_mmap(PEXH285144R *dev ,int offset,unsigned long int *value);
```

戻り値

エラーなら-1 成功なら 0

引数

fd ファイルディスクリプタ番号
dev pexh285144 のデバイスメモリへのポインタ
offset レジスタオフセット
value 値を読み出す変数へのポインタ

汎用関数 オフセット値を指定してレジスタに値を書き出す

```
int pexh285144_set_ioport(int fd,int offset,unsigned long int *value);
int pexh285144_set_mmap(PEXH285144R *dev ,int offset,unsigned long int *value);
```

戻り値

エラーなら-1 成功なら 0

引数

fd ファイルディスクリプタ番号
dev pexh285144 のデバイスメモリへのポインタ
offset レジスタオフセット
value 値を出す変数へのポインタ

チャンネルを指定して入力データを読み出す

```
int pexh285144_read_data(int fd,int ch,unsigned char *data);
int pexh285144_read_data_mmap(PEXH285144R *dev,int ch,unsigned char *data);
```

戻り値

エラーなら-1 成功なら 0

引数

fd ファイルディスクリプタ番号
dev pexh285144 のデバイスメモリへのポインタ
ch チャンネル(0 ~ 3)
data 値を出す変数へのポインタ

チャンネルを指定してデータを出力する

```
int pexh285144_write_data(int fd,int ch,unsigned char *data);
int pexh285144_write_data_mmap(PEXH285144R *dev,int ch,unsigned char *data);
```

戻り値

エラーなら-1 成功なら 0

引数

fd ファイルディスクリプタ番号
dev pexh285144 のデバイスメモリへのポインタ
ch チャンネル(0 ~ 3)
data 出力変数へのポインタ

すべてのチャンネルの入力データを読み出す

```
int pexh285144_read_data_all(int fd,unsigned char *data);  
int pexh285144_read_data_all_mmap(PEXH285144R *dev,unsigned char *data);
```

戻り値

エラーなら-1 成功なら 0

引数

fd ファイルディスクリプタ番号
dev pexh285144 のデバイスメモリへのポインタ
data 値を出す配列変数へのポインタ

すべてのチャンネルのデータを出力する

```
int pexh285144_write_data_all(int fd,unsigned char *data);  
int pexh285144_write_data_all_mmap(PEXH285144R *dev,unsigned char *data);
```

戻り値

エラーなら-1 成功なら 0

引数

fd ファイルディスクリプタ番号
dev pexh285144 のデバイスメモリへのポインタ
data 出力配列変数へのポインタ

DIP スイッチの読み込み

```
int pexh285144_get_sw(int fd,unsigned long int *data);
```

戻り値

エラーなら-1 成功なら 0

引数

fd ファイルディスクリプタ番号
data 出力変数へのポインタ

SEE ALSO

/usr/local/CNC/drivers/extmem/interface/pexh285144 下のプログラム

AUTHORS

Copyright (C) 1995-2017 Concurrent Real Time Inc.

25 May 2017

pexh285144(3)